



第9回アセアン・中国・日本・韓国・経済大臣会合 (AEM+3)

2006年8月24日 於:マレーシア クアラルンプール

共同声明

1. 2006年8月24日マレーシア クアラルンプールにおいて、アセアンの経済大臣と中国、日本、韓国からの経済大臣による会合が開催された。今次会合は、マレーシアのラフィダ通商産業大臣と中国のイ・ショウジュン商務部副部長と日本の二階俊博経済産業大臣と韓国のキム・ヒョンジョン通商交渉本部長の共同議長体制で開催された。

2. 閣僚達は、世界経済情勢、アセアン及び北東アジア諸国の近年の経済発展について意見交換を行った。閣僚達は、この地域の経済統合の進展度合いに満足感を表明した。特に、アセアン、中国、日本、韓国間の貿易規模が、2004年の2,731億USドルから2005年に3,170億USドルまで16%拡大したことを確認した。閣僚達は貿易・投資の流れを促進する手段として、地域経済統合を進展させることの重要性を再確認した。

経済協力プロジェクト

3. 閣僚達は、経済協力プロジェクトの進展を確認した。これらプロジェクトは、情報技術(IT)、中小企業(SMEs)、標準・品質の調和、環境、エンターテイメント、物流管理を含む広範な分野に渡る。

4. 閣僚達は、以下の新規協力プロジェクトを承認した。

- (i) 韓国が提案した東アジアの共存共栄に向けた情報通信技術(ICT)協力(2007-2011)
- (ii) 韓国が提案したアセアン+3税関情報交換ウェブサイト
- (iii) 日本が提案した貿易円滑化に向けたアセアン+3物流協力
- (iv) 日本が提案したアセアン+3における国際比較可能な統計整備のための協力
- (v) 中国が提案したアセアン諸国のための農業技術と経営訓練プログラム

地域協力の強化

5. 閣僚達は、EASGの提言する短期及び中・長期の施策の実施状況、特に、中国による東アジアフォーラム(EAF)、タイによる東アジアビジネスカウンシル(EABC)、日本に

よる東アジアシンクタンクネットワーク(NEAT)を歓迎した。

6. 閣僚達は、アセアン+3経済協力を更に推進するための施策について広範な議論を行った。アセアン、中国および韓国の閣僚は、東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)を設立するという日本の提案を確認した。閣僚達は日本に対し、当件についてはアセアン事務局と更に議論を深めるよう要求した。閣僚達は、アセアン、豪州、中国、日本、韓国及びニュージーランドを含む東アジア包括的経済連携(CEPEA)の可能性に関するトラック・ツーの専門家会合に向けた日本の提案も確認した。

東アジア自由貿易地域(EAFTA)の実現可能性

7. 閣僚達は、東アジア自由貿易地域(EAFTA)の実現可能性に関する合同専門家グループの代表により、この件に関する研究の成果について説明を受けて、彼らに感謝の意を表明した。アセアンの閣僚達は、地域的な統合の基盤として、現行のアセアン+1(プラスワン)自由貿易協定(FTA)や包括的経済連携(CEP)を迅速に合意させる必要性をあらためて述べた。また同時に、閣僚達は、合同専門家グループによる提言を受けた更なる検討をするよう高級事務レベルに指示した。

東アジアビジネスカウンシル(EABC)

8. 閣僚達は、会合の場において、東アジアビジネスカウンシル(EABC)と生産的な議論を行った。大臣達は、2006年12月に開催される東アジアビジネスサミットの充実した成果を期待している。

エネルギー分野の協力

9. 閣僚達は、日本の省エネルギーに関する協力のイニシアティブを確認した。

世界貿易機関(WTO)

10. 閣僚達は、最近のWTOの進捗状況、特に2006年7月27-28日に行われたジュネーブにおける一般理事会の成果について、意見交換を実施した。閣僚達は、ドーハ開発アジェンダ(DDA)の成功裡の終結に向けて共に努力していくことを改めて述べた。閣僚達は、必要な決意をもって、今後数ヶ月以内に交渉プロセスを再開することに合意した。

地域統合イニシアティブ

アジア太平洋経済協力(APEC)

11. 閣僚達は、2006年6月1、2日にベトナムのホーチミン市で行われた APEC 貿易担当大臣会合の成功を歓迎した。閣僚達は2006年11月18、19日にベトナムのハノイで行われることとなっている次回経済閣僚会議の成功への期待を表明した。

アジア欧州会議(ASEM)

12. 閣僚達は最近の ASEM の進捗状況を確認した。閣僚達は、2006年9月10、11日にフィンランドのヘルシンキで開催される第6回ASEMサミットの成功への期待を表明した。

アセアン+3、アセアン+1、東アジアサミットへ向けた準備

13. 閣僚達は本年12月にセブで開催されるアセアン+3、アセアン+1、東アジアサミットに向けてフィリピンが行っている準備を確認した。

⌘

LIST OF MINISTERS

1. **H.E. Dato' Seri Rafidah Aziz**, Minister of International Trade and Industry, Malaysia, Chairperson
2. **H.E. Mr. Yi Xiao Zhun**, Vice Minister of Commerce, People's Republic of China, Co-Chairperson
3. **H.E. Mr. Toshihiro Nikai**, Minister of Economy, Trade and Industry, Japan, Co-Chairperson
4. **H.E. Mr. Kim Hyun Chong**, Minister for Trade, Republic of Korea, Co-Chairperson
5. **Mr. Lim Jock Hoi**, Permanent Secretary, Ministry of Foreign Affairs and Trade, Brunei Darussalam
6. **H.E. Dr. Cham Prasidh**, Senior Minister and Minister of Commerce, Cambodia
7. **H.E. Dr. Mari Elka Pangestu**, Minister of Trade, Indonesia
8. **H.E. Dr. Nam Viyaketh**, Minister of Industry and Commerce, Lao PDR
9. **H.E. U Soe Tha**, Minister for National Planning and Economic Development, Myanmar
10. **H.E. Mr. Elmer C. Hernandez**, Undersecretary, Department of Trade and Industry, the Philippines
11. **H.E. Mr. Lim Hng Kiang**, Minister for Trade and Industry, Singapore
12. **H.E. Dr. Uttama Savanayana**, Vice Minister for Commerce, Ministry of Commerce, Thailand
13. **H.E. Mr. Truong Dinh Tuyen**, Minister of Trade, Viet Nam
14. **H.E. Mr. Ong Keng Yong**, Secretary-General of ASEAN

⌘

